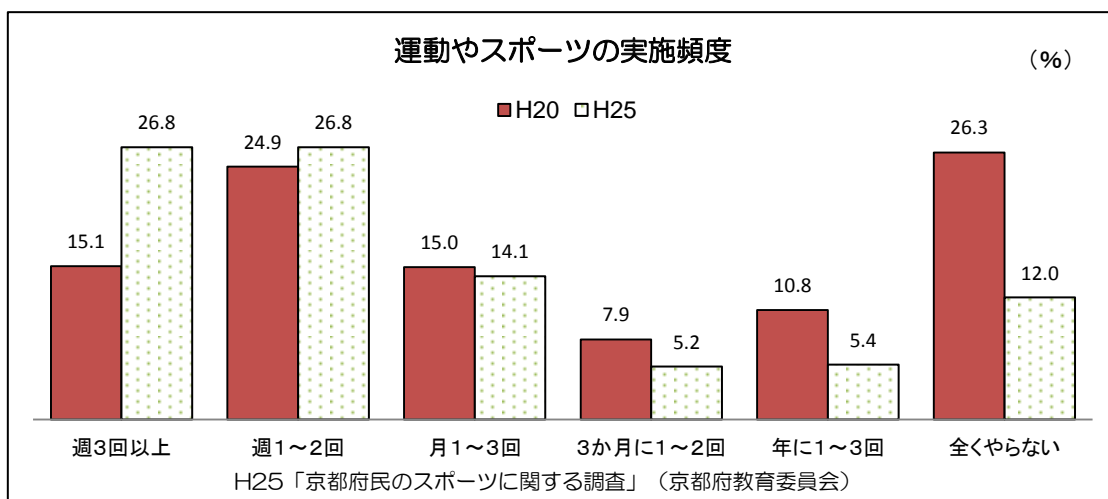
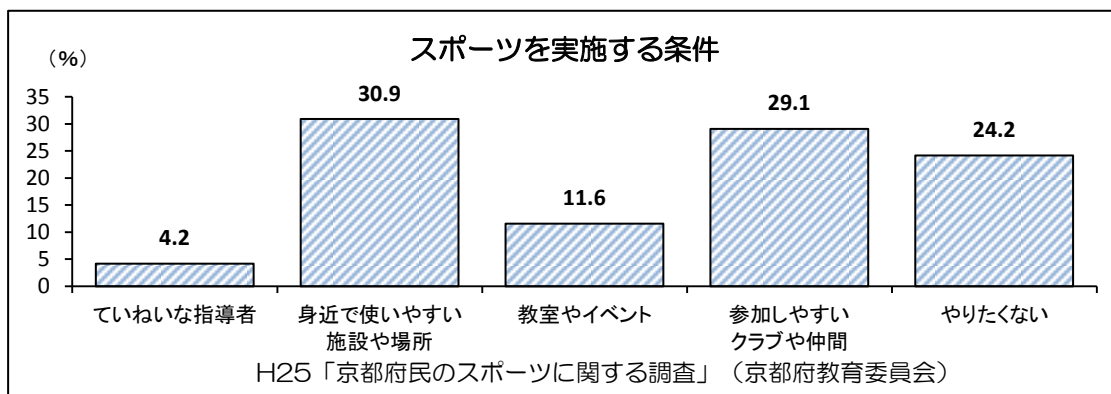


現状と課題

○ 平成25年に実施した「京都府民のスポーツに関する調査」の結果によると、運動やスポーツの実施頻度について、週に1～2回の人と週3回以上の人を合わせると、平成20年の40.0%から53.6%に増加しました。「全くやらない」と回答した人は、平成20年の26.3%から、半分以下の12.0%に減少しています。



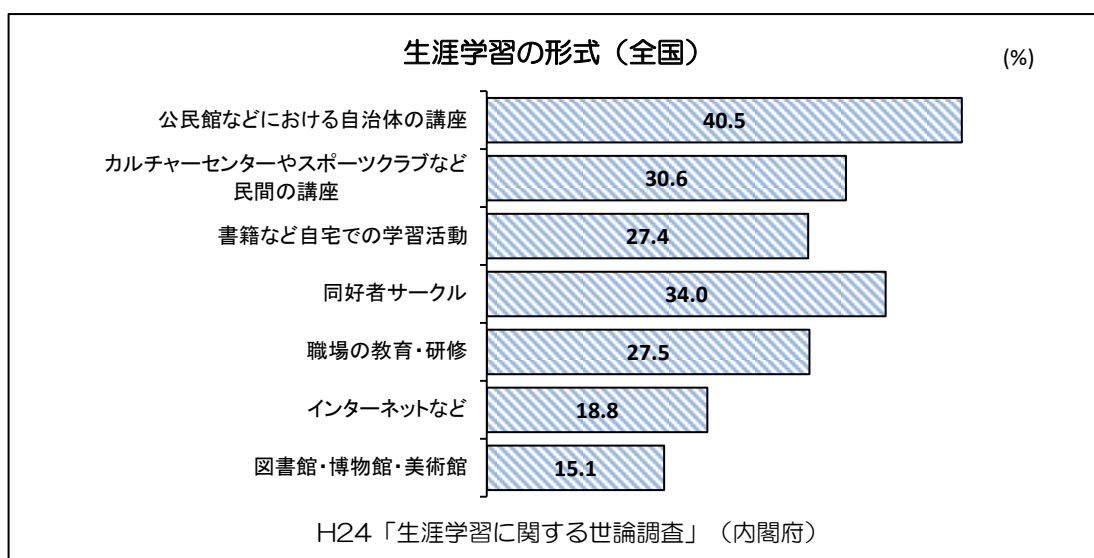
実施頻度が低い方に、どのような条件が満たされればスポーツを行うか聞いたところ、「身近で使いやすい施設や場所」(30.9%)、「参加しやすいクラブや仲間」(29.1%)といった回答が多く、気軽にスポーツに親しめる環境の整備が求められています。



○ 誰もが生きがいのある充実した人生を送るためには、生涯にわたって学ぶことができ、その成果を適切に活かすことのできる生涯学習社会の実現が求められています。

平成24年度の国の調査では、実際に生涯学習に取り組んだことがある人の割合は57.1%となっており、学習した場所や形態が「公民館などにおける自治体の講座」(40.5%)、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座」(30.6%)、「職場の教育・研修」(27.5%)など様々であることから、生涯学習に取り組む人を増やしていくためには、いつでも、どこでも、多様な方法で学習できる環境整備を進めることが必要です。

一方で、身に付けた知識などを地域や社会での活動に活かしている人の割合は低く、学校教育や社会教育に活かせる機会を充実することが求められています。



- 生涯学習は、趣味、レクリエーションから、国際理解、環境問題などの現代的課題まで極めて多種多様であり、かつ高度化、専門化の傾向が見られます。  
多様な学習ニーズに対応するための施設の充実や指導者の養成・確保が必要です。

## 基本的方針

変化する社会に柔軟かつ的確に対応し、豊かで生きがいのある人生を力強く歩み続けるためには、いつでもどこでも多様な方法で学習でき、生涯にわたって自ら学び自らを高めることができる生涯学習社会を実現することが大切です。

そのため、京都府内の各地域の特性を活かした多様な学習機会の提供、現代的課題の解決につながる学習活動の支援、生涯にわたって文化活動やスポーツ活動に親しむことのできる環境の充実を、社会教育関係団体などと連携・協力しながら推進します。

## 主な目標指標

目標指標	基準値（出典等）	目標
文化財講座等の参加者数（年間）	7,918人 府立郷土資料館等の文化財講座及び文化財公開事業等の実績による (23～26年度平均)	8,000人
週1回以上運動やスポーツを行う成人の割合	53.6% 京都府教育委員会「京都府民のスポーツに関する調査」(24年度)	増加させる
府立図書館の本の貸出冊数	247,284冊 貸出実績による(26年度)	270,000冊

## (38) 生涯学習環境の充実

**生涯にわたり、自ら学び自らを高める生涯学習社会を実現するため、京都の各地域の特性を活かし、いつでもどこでも多様な方法で学習ができる環境の充実を図るとともに、生涯学習で学んだ知識や経験を学校教育や社会教育において活かせる場や機会の充実を図ります。**

- 地域において少子化問題、貧困問題、環境問題などの現代的課題に関する学習活動を推進できるよう、社会教育主事、生涯学習関係者、公民館職員などの資質向上を図る研修を充実します。
- 府民の多様な生涯学習の成果を発揮し、学習活動、体験活動、環境整備など学校支援に活かせる場や機会の充実を図る取組を推進します。（(36)から再掲）
- 日本の数々の歴史的事象の舞台が府域の至るところに存在する京都の利点を活かし、文化財の公開、専門家による出前講座や実演など、現場を体感しながら歴史や文化を学ぶ取組を推進します。
- 地域と連携した歴史や文化の学習ができるよう郷土資料館の機能充実を図るとともに、府立丹後郷土資料館の全面リニューアルに取り組み、地域の歴史文化遺産の魅力を発信します。

## (39) 生涯スポーツ環境の充実

**健康でいきいきと生きがいを持って暮らせる社会づくりに向け、生涯にわたってスポーツに親しめる環境の充実を図ります。**

- 総合型地域スポーツクラブの創設と活動の充実、府立学校のグラウンドや体育館などの開放による場の提供を図るなど、生涯スポーツ社会の実現を目指した取組を推進します。
- 大人や高齢者が元気にスポーツを楽しめるよう、高校生などの若い世代から高齢者まで一緒に運動する取組を推進します。
- 関西ワールドマスタースゲームズ 2021 に向けた機運の醸成を図るため、京都府民総合体育大会にマスタース部門を設置するなど、府民の生涯スポーツを推進します。

\* 「総合型地域スポーツクラブ」：幅広い世代の人々が、各自の興味・関心やレベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブ

\* 「ワールドマスタースゲームズ」：国際マスタースゲームズ協会（IMGA）が4年ごとに主宰する、原則30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会。2021年には、アジアで初めて日本で開催される。

## (40) 生涯学習施設などを活用した学習活動の充実

**多様で高度な学習ニーズに対応するため、図書館や博物館、少年自然の家などの社会教育施設をはじめ、府内の大学や研究機関、各地域にある生涯学習施設を活用した学習活動を充実します。**

- 府立図書館において、府民の調査研究への支援を充実するとともに、集い、学び合い、議論する「知的な交流の場」を創設するなど、機能をさらに拡充し、知的活動の拠点としての府民のニーズに応える取組を充実します。
- 府立り湊少年自然の家を活用し、自然の中で共同生活を体験するなど自然体験活動や集団宿泊体験活動を充実します。
- 地震や水害などの災害から身を守るための緊急時の対応などについて、子どもから大人まで学習・体験できる取組を充実します。
- 府内の大学や博物館などと連携し、体験活動を通じた子どもの知的好奇心や探求心をはぐくむ取組など、生涯学習施設を活用した学習活動を充実します。

